

大学・高専機能強化支援事業（支援 1：学部再編等による特定成長分野への転換等に係る支援）
実施状況報告書

選定年度	令和6年度	学校コード	F112310102477	設置等組織名	バイオ応用科学部(醸造化学学科・バイオ農芸学科)
大学名	和洋女子大学	設置区分	私立		
学校種	大学	都道府県	千葉	事業計画名	和洋女子大学バイオ応用科学部(醸造化学学科・バイオ農芸学科)（仮称）の設置

1.フェーズ別の計画及び取組状況

フェーズ別の事業計画と取組状況、年度別の自己評価を記載してください。
当初計画から変更又は追加した取組がある場合は「取組状況」に取組を赤字で記載してください。また、計画変更申請をした場合は「取組状況」に承認日を赤字で記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある等、自己評価が下位2つの場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

事業期間		事業計画	取組状況	自己評価、課題（理由）とその対応	
フェーズ1		1－① 令和6年10月～ 1－② 令和6年10月～ 1－③ 令和6年10月～ 1－④ 令和7年7月～ 1－⑤ 令和8年4月～ 費した 1－⑥ 令和8年4月～ 1－⑦ 令和8年7～11月 1－⑧ 令和8年11月～令和9年1月	GX学部等設置準備事務室の設置（構想・学内調整等） 設置認可申請書類の準備及び作成（構想・学内調整等） バイオ応用科学部設置構想委員会の設置（構想・学内調整等） 設置認可申請書類の準備及び作成（教員確保等） 進路指導教員、高校生に向けて二年前広報から完成年度までの一 広報戦略策定等 学生確保ニーズ調査実施に向けての準備 学生確保ニーズ調査実施 学生確保ニーズ調査の分析	1－① 令和6年10月～ 1－② 令和6年10月～ 1－③ 令和6年10月～ 1－④ 令和7年2月～ 1－⑤ 令和7年3月 【改組内容】 ・令和6年 バイオ応用科学部（醸造化学学科・バイオ農芸学科）（仮称）から、学部学科の名称を変更することを検討している。「学部の新設」「学位の分野」の方針に変更はない。	R6年度自己評価 【2】計画を十分には実施していない。 学内構想を固めるためのワーキンググループを設置して、学部の構想を具体化した。また具体化した学部構想に関連し、事前の市場調査を行うこととし、デスクリサーチ（文献調査）により、農学分野における女子の需要を調査した。学内構想について外部有識者からの意見を得る段階までの検討には至っておらず、設置認可申請書類の準備へ向けて、学部学科構想の最終確定にも至っていない。学生が確保できる新設学部を目指し、引き続き根拠等の調査資料を整えていく。 また、新設する学部の定員設定や、施設設備に関する検討について、設置認可申請書類の準備に必要な検討をR7年度以降進めていく。 ○年度自己評価 リストから選択してください。
	フェーズ2前倒し			○年度自己評価 リストから選択してください。	
	認可申請又は届出	令和9年3月認可申請予定			
フェーズ2	フェーズ1後倒し			○年度自己評価 リストから選択してください。	
		2－① 令和9年4月～令和10年2月 新校舎および研究施設建設（入札・基礎工事・建設） 新学部校舎新築工事 ア）和洋女子大学農学研究センター（仮称） イ）階数：三階建 面積：4,442㎡ ウ）工期：令和9年4月～令和10年2月 （建設工事費、電気設備、給排水、空調、防火水槽 他） 2－② 令和9年4月～令和10年2月 新校舎および研究施設の備品の購入および搬入等		○年度自己評価 リストから選択してください。	
開設又は定員増		令和10年4月学部開設、学科定員増			
フェーズ3	フェーズ2後倒し			○年度自己評価 リストから選択してください。	
		3－① 令和9年4月～ 3－② 令和9年4月～ 3－③ 令和9年8月～ 実施協定の締結 3－④ 令和10年4月	GX学部等事務室の設置（運営等） 学部の申請から完成年度までにおける、定員充足に向けての戦略策定等 研究部門の分担協力、産学官連携などの横断的な研究体制の確立及び 特別ホームページ作成（制作費、運営費等）	○年度自己評価 リストから選択してください。 ○年度自己評価 リストから選択してください。 ○年度自己評価 リストから選択してください。	
定員減又は学部等の廃止		令和8年3月学部、学科定員減に係る届出予定			

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	和洋女子大学
-------------	-------	-----	--------

2.申請資格の確認

該当しない場合は、チェックしてください。

i) 学生募集停止中の大学

該当無し	☒ チェック
------	--

ii) 学校教育法第109条の規定に基づき文部科学大臣の認証を受けた者による直近の評価の結果、「不適合」の判定を受けている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iii) 「私立大学等経常費補助金」において、定員の充足状況に係る基準以外の事由により、前年度に不交付又は減額の措置を受けた大学

該当無し	☒ チェック
------	--

iv) 設置計画履行状況等調査において、「指摘事項（法令違反）」が付されている大学

該当無し	☒ チェック
------	--

v) 大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準（平成15年文部科学省告示第45号）第2条第1号又は第2号のいずれかに該当する者が設置する大学

該当無し	☒ チェック
------	--

3.申請要件の取組状況

令和6年度 の取組が当初の計画通りに進んでいる、又はチェック項目に該当する場合はチェックしてください。計画通りに進んでいない、又はチェック項目に該当しない場合は右欄に課題（理由）とその対応を記載してください。

①	高等教育の修学支援新制度において、大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）に基づき、財務状況や収容定員充足率が適正であることを含めた要件を満たすことの確認を受けた大学であること。なお、新設予定の大学で、応募時点において、高等教育の修学支援新制度における要件確認の対象に該当しないものは、本要件は適用されない。					
	<table><tr><td>確認を受けている</td><td>☒ チェック</td></tr><tr><td>確認の対象に該当しない</td><td>☐ チェック</td></tr></table>	確認を受けている	☒ チェック	確認の対象に該当しない	☐ チェック	
確認を受けている	☒ チェック					
確認の対象に該当しない	☐ チェック					
②	十分な学生確保の見通しを備えた計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
③	産業界を含む社会のニーズ等を踏まえ、学修目標の具体化、体系的な教育カリキュラムの編成及び大学での学修に必要な資質・能力等を評価する入学者選抜が適切に実施され、そのための体制を構築する計画となっていること。（その際、国際的な質保証の枠組みを活用するなど出口における質保証にも十分留意することが重要。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
④	特定成長分野の人材を育成するための戦略、適切な管理・教育体制や教育研究環境の整備を図る計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑤	計画の対象となる学部等において、実務経験のある教員等による授業科目を配置する計画となっていること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑥	特定成長分野に係る学部の設置等（学部若しくは学科の設置又は収容定員の増加）による組織の変更を伴う学部再編等の計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	社会において具体的な人材ニーズが現に存在する、又は、その十分な見通しのある分野に係る学部等の設置等に取り組む計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑦	学部又は学科の設置を行う場合、地域における特定成長分野の人材を必要としている複数の企業等と設置構想に関する事前協議を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑧	入学定員が20名以上増加する計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑨	事業計画の選定があった日から4年を経過する日を含む年度の末日までに、計画の対象となる学部等の設置等を行うことを目指す計画であること。（本事業の申請時に既に設置認可申請又は届出を行っている場合を除く。）					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる、又は設置等を行った</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック			
計画通りに進んでいる、又は設置等を行った	☒ チェック					
⑩	大学の総収容定員充足率（在籍学生数の収容定員に対する割合）について、計画の対象となる学部等の設置等に係る設置認可申請又は届出までに80%を満たす計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑪	フェーズ3の助成期間終了時までに、大学全体の外部資金獲得額を申請時点の平均（過去5年間の中央値3年分の平均）に本事業による支援額の2.5%を上乗せした水準以上とする計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑫	計画の対象となる学部又は学科において、自大学以外の機関との連携を通じた教育体制の整備と教育の実施及び多様な入学者の確保に向けた取組を行う計画であること。					
	<table><tr><td>計画通りに進んでいる</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画通りに進んでいる	☒ チェック			
計画通りに進んでいる	☒ チェック					
⑬	選定された大学は、公募要領に定める申請要件を満たす質の高い教育等に向けた計画の具体化に努めるとともに、その進捗報告を行うこと。また、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構法第十六条の三に規定する助成業務の実施に関する方針（令和5年4月13日文部科学大臣認可）六（2）②に基づき機構が実施する会議に参加すること。					
	<table><tr><td>計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	☒ チェック			
計画の具体化に努め進捗報告を行い、会議に参加した	☒ チェック					
⑭	文部科学大臣から国際卓越研究大学として認定を受け、支援を受けている大学でないこと。					
	<table><tr><td>認定を受けておらず申請する意向もない</td><td>☒ チェック</td></tr></table>	認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック			
認定を受けておらず申請する意向もない	☒ チェック					

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	和洋女子大学
-------------	-------	-----	--------

4.審査要項における確認項目の計画及び取組状況

令和6年度 の取組実績を記載し、申請時に選択した項目にチェックを入れた計画を記載してください。取組実績は会社名や大学名、定量的なデータ等を示し具体的に記載してください。検討中であっても状況を記載してください。
計画の進捗の遅れや実施困難な事項がある場合には、課題（理由）とその対応を記載してください。計画通りに実施できており、その他課題がない場合に限り記載は不要です。

- 【A：連携を通じた教育体制の整備と実施】（連携開設科目等に限らない）
- ☒ チェック

a.企業や自治体と連携した科目（PBL等）の整備・実施
- ☒ チェック

b.関連分野に強みを持つ地域他大学と連携した科目の整備・実施
- ☐ チェック

c.関連分野に強みを持つ海外大学との連携（連携した科目や交換留学プログラムの整備・実施等）

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
千葉県の特性を活かして、銚子市にある醤油メーカー数社、酒造会社、千葉県酪農農業協同組合連合会等を通じて乳製品メーカー及び地域大手企業であるパン製造会社との協力関係を築くための協議および連携を図り、研究部門の分担協力、産学官連携などの横断的な研究体制を構築する予定である。 これらの協力関係を基に、ゲノム情報を自在に扱える現代において、微生物のもつ発酵と醸造の力を遺伝子レベルから掘り起こして、社会の様々な局面で役に立つ技術을クリエイトでき、地元の醸造、発酵技術の伝承と発展に寄与できる日本の女子大学では初の分野で実践的に貢献できる女子学生を養成する計画である。 また、県内外にある大学および千葉県にある大学と連携し、共に「生命化学」「食料」「環境保全」「健康栄養」「バイオエネルギー」「地域貢献」などの分野について協力関係または大学間協定を締結する予定である。	令和6年度においては具体的な進捗はない。	令和7年度に具体的な体制を構築する。

- 【B：多様な入学者の確保に向けた取組】
- ☒ チェック

a.入学者選抜における科目の見直し
- ☐ チェック

b.女子学生の確保（志願者数増）に向けた取組
- ☐ チェック

c.地域の初等中等教育段階の学校との連携（出張授業の実施等）
- ☒ チェック

d.社会人学生の受入れ強化に向けた取組（リカレント・リスキリングへの対応）
- ☐ チェック

e.留学生の受入れ強化に向けた取組

申請時の計画	取組実績、進捗状況	課題（理由）とその対応
入学者選抜の見直しでは①学修の計画書で、「生命化学」「食料」「環境保全」「健康栄養」「バイオエネルギー」「地域貢献」などの分野への基礎的な意欲の記述課題②図表等を用いた論述式問題③受験科目に「生物・化学・物理」の基礎的知識を課す予定である。 また、社会人に対しては実際の女性農業従事経験者の社会人特別選抜の導入し、実経験を未経験学生への学生間交流などを通じ、実農業現場での諸課題についての知識の底上げを図り、大学として「生命化学」「食料」「環境保全」「健康栄養」「バイオエネルギー」「地域貢献」などの分野における理解と知識の涵養の支援を積極的に行い、このための学生への指導、支援支援体制も構築する予定である。	令和6年度においては具体的な進捗はない。	令和7年度の設置認可申請書類の準備作成の段階で具体的な検討を行う。

フォローアップ対象年度	令和6年度	大学名	和洋女子大学
-------------	-------	-----	--------

指摘事項等に対する対応状況を記載してください。

区分	指摘事項等	対応状況

大学名	和洋女子大学
-----	--------

大学名	和洋女子大学
-----	--------

本事業対象となる学部等の個数	2
----------------	---

1.本事業対象となる学部等の状況

<内訳>

(1)

改組内容	学部の新設
学部学科名	バイオ応用科学部醸造化学学科

[illegible]

大学名	和洋女子大学
-----	--------

3.大学（学士課程）の状況

年度				R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度	R20年度	R21年度	R22年度	R23年度	R24年度
大区分	小区分	項目	単位																			
学生の入学・在籍状況	春季入学	入学定員	人	750	750																	
		入学者数	人	633	622																	
	その他の学期	入学定員	人	***	***																	
		入学者数	人	***	***																	
	入学者合計	入学定員(A)	人	750	750																	
		入学者数(B)	人	633	622																	
		入学定員充足率（B/A）	倍	0.84	0.83																	
	収容定員等	収容定員(C)	人	3000	3000																	
		編入学定員	人	***	***																	
		在籍者数(D)	人	2609	2523																	
		編入学者数	人	***	***																	
		収容定員充足率（D/C）	倍	0.87	0.84																	

4.外部資金の状況（全学）

年度		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	R10年度	R11年度	R12年度	R13年度	R14年度	R15年度	R16年度	R17年度	R18年度	R19年度
改組状況		選定－6年	選定－5年	選定－4年	選定－3年	選定－2年	選定													
項目	単位																			
外部資金獲得額	千円	97,622	99,501	88,390	66,907	61,301	42,936													

項目	単位	
申請時点の外部資金獲得額平均 （過去5年間における各年度の外部資金獲得 額のうち最大額及び最小額を除いた残り3年分の 平均）（E）	千円	84,306
本事業による助成金の額(F)	千円	1,101
フェーズ3の助成期間終了時までに達成する額 (E+F×2.5%)	千円	84,334

特記事項